

レッドアクション各地で

愛知・春日井

愛知県春日井市のJR勝川駅前広場で9日、戦争法案阻止をめぐり「女性のレッドアクション」が行われました。赤いTシャツやスカーフなどを身につけた女性ら150人以上が集いました。戦争をさせない春日井女性レッドアクション実行委員会の主催。

最後まで聞いていた天野綾さん(45)は「みなさんの話す通りです。女性は誰もが産み育てた大切な子どもを戦場に送りたくないと思っています」と話しました。

集会後、参加者は「憲法守れ」「安倍やめろ」と書いたボードを掲げ、市内をパレードしました。日本共産党の伊藤建治、原田祐治の両市議が激励に駆けつけました。

岐阜・中津川

猛暑が続く岐阜県中津川市で8日夕、第4回歌うレッドアクションが行われ、約100人が参加しました。

実行委員長の松下和子さん(67)が「政府は追い詰められている。

何が何でも戦争法案を通そうとするやり方を絶対に許すことができない。廃案になるまで頑張ろう」とあいさつしました。

ヤンガールズのメンバーである田沢淳男さん(78)は、自作したばかりの「戦争法案NO! かぞえ唄」を披露しました。

終了後、県道に横並びして安倍政治を許さない、戦争反対のパネルを掲げ市民にアピールしました。

新潟・上越

新潟県上越市で8日、戦争法案反対のレッドアクションが行われ、猛暑のなか40人が参加しました。同実行委員会が継続して行っています。

手作り人形なども登場。初参加者も含めてフリートークで「70年前に絶対戻してはいけない」「人には言葉がある。紛争は武力では絶対解決しない」などと思いを訴えました。

笑顔で手を振る人、クラクションを鳴らす人など多くの反応がありました。次回は21日に行います。